

点描ぐんま経済

日銀支店長

見聞録

■135■

前橋駅に初めて降り立った日に気になったことがある。発車メロディーが童謡「チューリップ」なのだ。チューリップの花を見ると口ずさんでしまう、あの歌だ。

チューリップは1932（昭和7）年発表。作曲した井上武士さんの出身地が前橋市五代町というところで、前橋駅の発車メロディーに選ばれた。井上さんは、群馬県師範学校（現群馬大）を卒業して1年間小学校で音楽を教えた後、東京音楽学校（現東京芸術大）に入

井上さんはもう一つ、ちのために作られた歌。す。

誰もが知る童謡を作曲している。それは「うみ」だ。しかも、作詞の林柳波さんは沼田市出身。そう、「うみ」は海なし県出身の二人によって生み出されたのだ。この事実を知ると、「いつてみたいな、よそのくに」という詞と旋律からは、海へ

「私は音楽を学んだことも喜びというよりは、音楽に感動する心を持つたことをうれしく思えます。

五代町にひっそりたたずむ顕彰碑に、子どもたちに向けた井上さんの温かい言葉が刻まれている。どうぞみなさん、良い音楽に感動する人になってください」

ベートーベンは「子どもを幸せにするのは力ではない。ただ道徳のみだ」と言った。春風の吹く中、かれんに咲くチューリップ。駅ホームに流れる発車メロディー。関わった人たちの情熱に思いをはせると、音楽の楽しさや教育の大切さといった金銭では計れない価値もあることに気付かされる。

金銭で計れない価値

教本がある。「音楽教育の目標」を明快に示したうえで、歌唱や合唱、演奏などの指導方法から評価方法に至るまでこと細かに記載されている。この本一つとっても、井上さんの音楽への情熱と子どもたちへの愛情が伝わってくる。

の強い憧憬しょうけいが感じられる。 「うみ」が世に出たのは太平洋戦争が開戦した41（同16）年。詞の「日が沈む」は「縁起が悪い」と文部省から物言いがあったが、両氏は意に介さなかつたそうだ。小学校の唱歌として、子どもた

宮 将史（みや・まさふみ）

1974年生まれ。神奈川県出身。一橋大経済学修士。

2000年日本銀行入行、政策委員会室国会渉外課長などを

を経て24年7月から現職

「チューリップ」に思う

つてくる。



の唱歌として、子どもた